

(様式第2号)

協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。
ただし、この企画書はA4サイズ6ページ以内で作成してください。

提案者	提案団体名	特定非営利活動法人 YouthCreate (担当者名 原田 謙介)			
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
	協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	選挙管理委員会事務局	電話	086-803-1545 内線 4805
		担当	氏名	大橋 成人	職名
	氏名		長谷川 隆英	職名	担当課長補佐
	課名			電話	
	担当	氏名			職名
氏名				職名	

※以下、箇条書きなどによりできるかぎり簡潔に記載してください。

(1) 事業の目標

①解決を目指す社会問題 または実現を目指す理想	家庭・普段通うカフェ・学校や部活での日常に、政治に関心を持つ「きっかけ」が多くあり、また、同世代や他世代で共に政治に関する話をするのが当たり前にある社会を目指す。さらに自分たちの声が政治・行政の議論の場に選挙以外の方法によっても届く街を目指す。
②約3年後に実現を目指す 社会や対象の状況	学校での出前授業や公民館での出前講座や WASAOSPOT を拠点とした啓発活動をきっかけに作成された WASAO レターでは、高校生と大学生が関心を持つような、行政(国、県、市)に関連する情報がうまくまとめられており、選挙の際などの参考になる。 政治的会話が日常の中に増えている。 ※ WASAO(ワサオ)とは「若者の参画する街岡山」の通称で、YouthCreate のプロジェクトの一つです。WASAO レターについては、(2)⑦(事業)を参照のこと。
③約2年後に実現を目指す 社会や対象の状況	学校での出前授業や WASAOSPOT を拠点とした継続的な啓発活動が増えることにより、WASAO レター事業への参加学校数の増加や、参加主体(各校運動部など)の増加。 WASAO レターの学校への展開とともに奉還町商店街などでの展開

<p>④ 1年後に実現を目指す状況</p>	<p>高校での、大学生による出前授業の実施 政治や街に関心を持った高校生と大学生が WASAO レター作成を、平成 29 年度本事業で定着しつつある WASAO SPOT を拠点とし主体的に実施 WASAO レターにより、多くの高校生・大学生の日常での政治的会話を増加させ、若者と行政がつながる機会を作る</p>
<p>⑤「④」の実現を阻む要因</p>	<p>出前授業に関心を持った生徒が関心を維持し深めるための次へのステップがないこと 自分たちの声が政治・行政に届くなんて若者が思っすらいなこと</p>
<p>⑥「⑤」を示す情報又は仮説（調査結果、当事者の声、他地域との比較など）</p>	<p>「政治的会話」の増加が政治参画意識を高める効果があるとの研究調査あり（政治的会話の橋渡し効果：社会心理学研究 第 32 巻第 2 号から） 高校生や大学生が直接、行政に意見を届けることができる機会がないこと</p>

（２）本事業の内容

<p>⑦「⑤」の中から本事業で解決を目指す要因と事業の内容</p>	<p>（要因） 出前授業に関心を持った生徒が関心を維持し深めるための次へのステップがないこと 自分たちの声が政治・行政に届くなんて若者が思っすらいなこと。</p> <p>（事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生スタッフを募集し、高校での出前授業を共に作っていく ・高校での出前授業を実施し、同時に WASAO レター作成メンバーを募集 ・大学生が引っ張りながら高校生とともに、テーマを定めて WASAO レター作成。岡山市を中心とした政治・行政の状況を調べまとめる (WASAO レターにまとまり切らないものもウェブ上には掲載していく) ・WASAO レターを高校や大学などに展開。同時に WASAO レターを読んで思った意見などを募る。 ・意見を行政に届け、回答を得る。 ・回答に関して、高校や大学などに展開 <p>このサイクルを 2 回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙時の学生アルバイト事前登録制度の導入
<p>⑧事業の有効性を示す根拠（当事者のニーズ、他地域の成功事例など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体における、若者議会の例など（遊佐町若者議会参加者は街への関心が高まった） ・「子どもや若者が対象となる政策や制度については子どもや若者の意見を聴くようにすべき」と 7 割近くの若者が答えると同時に、「私個人の力では政府の決定に影響を与えられない」と答える若者も 6 割程度いる。※平成 25 年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（内閣府）
<p>⑨提案事業の成果を測定する指標（定量・定性の両方またはいずれか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業実施学校における定量・定性調査（出前授業前・出前授業後・WASAO レター送付後・年度末に実施） ・参加大学生の意識の変革の調査

(3) 協働の必要性と実施体制

	提案団体	担当課
事業の役割分担	出前授業の実施 WASAO レターの作成のための大学生・高校生へのプログラム提供	出前授業先の選定 協働での出前授業の実施 WASAO レターを届ける先の部署との連携
役割分担の理由 (それぞれが持つ経験、実績、情報、当事者性など)	全国での出前授業の実施実績 平成 29 年度本事業で培った、高校生を巻き込む WASAO 大学生スタッフのスキル	従前から年 10 回前後の、出前授業実施の実績、及び生徒会選挙等における投票箱等の機材の貸出の実績による市内の学校との接点がある。
協働効果を高めるための工夫 (目的や情報共有の方法など)	月一回打合せの場を設け、情報を共有、問題点を洗い出しつつ、事業内容、スケジュールの進行管理、必要であれば随時見直しを行う。	

	名称	役割
その他に連携が必要と思われる対象と期待する役割 (あれば記載)	市内の高校	主権者教育の担い手
	高校生・大学生を対象とするイベントを実施しようとしている NPO 法人	WASAO SPOT を共同利用することによる相乗効果
	野村教育研究所 (平成 30 年 2 月～ 一般社団法人 S G S G)	WASAO SPOT における野村教育研究所の事業への参加者との連携

(4) 事業スケジュールについて

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

		学校・高校生	大学生
5 月	上旬	学校への打診	出前授業メンバー募集
	中旬	学校との調整	出前授業作成
	下旬		出前授業作成
6 月	上旬		出前授業作成
	中旬		出前授業作成
	下旬	出前授業研修	
7 月	上旬	出前授業実施	
	中旬		
	下旬	WASAO レターメンバー MTG	WASAO レターメンバー MTG
8 月	上旬	担当部署ヒアリング	担当部署ヒアリング
	中旬		
	下旬	WASAO レター往作成	WASAO レター作成

9月	上旬	WASAO レター往配布	
	中旬		
	下旬	WASAO レター往意見集約	
10月	上旬	出前授業打ち合わせ	担当部署ヒアリング
	中旬		
	下旬	WASAO レター復作成	
11月	上旬		
	中旬	WASAO レター復掲示	
	下旬	出前授業研修	
12月	上旬	出前授業実施	
	中旬	WASAO レターメンバーMTG	
	下旬	担当部署ヒアリング	WASAO レターメンバーMTG
1月	上旬	WASAO レター往作成	担当部署ヒアリング
	中旬	WASAO レター往配布	
	下旬	WASAO レター往意見集約	担当部署ヒアリング
2月	上旬	WASAO レター復作成	
	中旬		
	下旬	WASAO レター復掲示	

(5) 次年度以後の事業展開

次年度の事業展開 <small>(「約2～3年後に実現を目指す社会状況のイメージ」をふまえて)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 岡山市の一般施策としてより安定的かつ広範囲に展開していくことを目指す。 ■ 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 □ 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の一般施策化へ備える。 □ 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 □ その他 ()
	具体的な事業の目標
	学校での出前授業や WASAOSPOT を拠点とした継続的な啓発活動が増えることにより、WASAO レター事業への参加学校数の増加や、参加主体（各校運動部など）の増加。 WASAO レターの学校への展開とともに奉還町商店街などでの展開
	具体的な事業の内容
	学校での出前授業や WASAOSPOT を拠点とした啓発活動の協働実施 WASAO レターの実施内容を充実させる 税務署と出前授業（講座）の共同事業を実施する WASAO レターの作成のフローやマニュアルの整備を進め、選挙コンシェルジュ（選挙啓発の学生支援スタッフ）の養成に資する

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	出前授業を起点とした、高校生・大学生による政治参画促進事業
-------	-------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	500	
	合同提案 団体負担金等		
	自己資金合計 (a)	500	
事業収入			
事業収入合計 (b)		0	
岡山市補助金申請額 (c)		1,176,000	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		1,176,500	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費			詳細は別紙(追加資料)参照
事業実施経費合計 (e)		466,500	
管理運営経費			詳細は別紙(追加資料)参照
管理運営経費合計 (f)		710,000	
総事業費 (g) = (e) + (f)		1,176,500	

(添付書類等)

- ① 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること
- ② 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること

団体の概要書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん ゆーすくりえいと 特定非営利活動法人 YouthCreate						
所在地	〒165-0026 東京都中野区新井1丁目34-1 新井パークハウス101						
代表者職・氏名	(役職) 代表理事	(ふりがな) はらだ けんすけ (氏名) 原田 謙介					
事業担当者	(役職)	(ふりがな) (氏名) 同上					
	電話	070-5525-9800			FAX		
	E-mail haraken@youth-create.jp						
活動開始年月日	2012	年	11	月			
活動期間	5	年	5	か月	(平成30年3月末日現在)		
設立年月日	2012	年	11	月			
団体の目的	若者を主とした不特定多数の人に社会参画及び政治参画の促進、将来社会の担い手となる若者の育成、情報化社会の発展を図る活動に関する事業を行い、社会全体の利益の増進を図ることを目的とする。						
主な活動(事業)	(1) 政治・社会参画に関する啓発活動事業 (2) 政治・社会参画に関する人材育成・教育支援事業 (3) 政治・社会参画に関する普及・啓蒙のための調査研究及び情報提供事業 (4) 政治・社会参画に関する他団体の活動支援事業 (5) その他目的を達成するために必要な事業						
組織	正会員数		12人		賛助会員数		30人
	役員数	4人	職員数	常勤	1人	内有給	1人
	内有給	1人		非常勤	0人	内有給	0人
主な活動地域	東京都・岡山県			会員の入会条件		この会の目的に賛同した者	
事業の規模 (実施回数)	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日	<input checked="" type="checkbox"/> 毎週 2回		主な対象者		10~20代の学生・若者	
	<input type="checkbox"/> 毎月 回	<input type="checkbox"/> 年 回		参加者数(年間延べ)		500人	
団体の財政状況	経常収入	会費	39,000円	事業収入	7,394,988円	収入合計	10,505,257円
	経常収益	寄付金	773,697円	その他	570,572円		
	経常支出	事業費	9,490,709円	管理費	12,057,774円	支出合計	12,057,774円
	経常費用	管理費	円				
資産・負債	資産	3,627,650円	負債	1,165,858円	正味財産計	2,461,792円	
広報関係の有無	会報・広報誌		<input checked="" type="checkbox"/> 有(年1回発行)				<input type="checkbox"/> 無
	ホームページ		<input checked="" type="checkbox"/> 有(URL: http://youth-create.jp/)				<input type="checkbox"/> 無
	ホームページで公表している情報にチェックを入れてください。						
過去の協働事業や 助成金、委託を受け た実績(企業や大学に ついては公益活動に ついてのみ記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告		<input checked="" type="checkbox"/> 決算書		<input checked="" type="checkbox"/> 活動状況		<input type="checkbox"/> その他()
	※これまでに岡山市や他の行政機関から事業を受託したことがある場合は、事業名・委託契約先名・受託時期を、また、これまでに岡山市や他の行政機関、民間団体等から助成金を受けたことがある場合は、名称、助成団体、金額、時期等を記入してください(過去5年間程度)。						
●平成27年度 若者の政治・選挙参加の促進に関する調査研究事業(委託) ・事業名: 同上 ・助成団体: 岡山県 ・助成金額: 278,959円							
●平成27年度 福武教育文化振興財団助成 ・事業名: 若者の参画する街岡山 ・助成団体: 福武教育文化振興財団							

	<ul style="list-style-type: none">・助成金額：100,000円 ●平成27年度 チャレンジ・アシスト・プログラム<ul style="list-style-type: none">・事業名：若者向けシティズンシップ教育実践教育プログラムの作成と実施・助成団体：東京スポーツ文化館・東京都教育委員会・助成金額：192,000円 ●平成29年度 市民協働推進モデル事業補助金<ul style="list-style-type: none">・事業名：若者と政治をつなぐ場づくり事業・助成団体：岡山市・助成金額：1,727,000円
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※所属する法人・団体毎に記載してください。組織・財政状況等は前年度末時点のものを記載してください。(該当しない部分は空白で結構です。)

※次の資料を添付してください。①役員名簿 ②団体の定款・規約・会則等 ③前年度活動報告及び活動(収支)計算書 ④その他団体の内容がわかる資料